

平成 22 年 5 月 10 日

愛知県病院薬剤師会
薬学長期実務実習生受け入れ施設
薬剤（部・課・科・局）長 様

愛知県病院薬剤師会
会 長 勝見 章男
薬学生病院実習検討委員会
委員長 松原 弘幸

薬学長期実務実習における問題点の収集のお願い

謹啓 平素は本会の運営についてご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

いよいよ 6 年制薬学教育における最初の長期実務実習が 5 月 17 日から開始されます。この実習においては今後、さまざまな問題が発生することが予想されており、よりよい実習を実施するためには、これらの問題点及びその解決方法などの情報を施設間で共有することが重要であると考えております。今回、日本病院薬剤師会より「薬学長期実務実習における問題点の収集のお願い」ということで、発生した問題点を早期に収集・分析して、会員施設にフィードバックするとともに、問題点と解決方法を共有することが提案されました。そこで、愛知県病院薬剤師会においても、この提案に賛同するとともに実習期間中に生じた問題点を収集し、試みた解決方法とその効果なども含めて日本病院薬剤師会に報告して行きたいと考えております。愛知県病院薬剤師会としては、問題点が発生した際、実習生受け入れ施設からの早急な報告ルートを確認したいと考えております。愛病薬における問題発生時の具体的報告ルートは、

実習生受け入れ施設→薬学生病院実習検討委員会(松原委員長)→日病薬

報告は別添の様式（愛知県病院薬剤師会ホームページよりダウンロード）に記載して戴き、下記アドレスにメールあるいは住所に郵送でご報告下さい。

尚、問題点の収集の仕方等に関しては、今後も検討を重ね変更する場合があります。

記

報告先：愛知県病院薬剤師会 薬学生病院実習検討委員会 松原委員

(mail : h_matsubara@hospital.kasugai.aichi.jp)

(〒486-8510 春日井市鷹来町1丁目1番地1 春日井市民病院 薬剤部 松原弘幸)

報告内容：病院実習中に起こった問題点

対処方法：問題点に対処できた場合